

平成 30 年 7 月 11 日

平成 30 年度大学院入学試験（2 月期）の出題ミスとその対応措置について

国立大学法人 筑波大学

平成 30 年 2 月 1 日（木）に実施しましたシステム情報工学研究科博士前期課程コンピュータサイエンス専攻の入学試験において出題ミスがありましたので、下記のとおり公表します。

出題ミスは、同一試験問題の日本語版と英語版のうち、英語版において選択問題の一部に記述ミスがあったものです。

受験生の皆様並びに関係者の方々にご迷惑をおかけしたことを深くお詫びいたしますとともに、このたびの事案について、本学として真摯に受け止め、今後、再発防止に努めてまいります。

記

1 出題ミスの内容

日本語版試験問題と英語版試験問題で異なる出題内容となる記述ミスがありました。

- 基礎科目（数学、情報基礎）英語版試験問題：Problem V (1)(b)

（誤）

Write down $f(x)$ in the canonical conjunctive form (CCF). CCF is also known as the maxterm expansion or the full conjunctive normal form.

（正）

Write down $f(x)$ in the disjunctive normal form (DNF). DNF is also known as the canonical sum of products form or the minterm expansion.

【参考：日本語版試験問題における記述】

$f(x)$ を論理和標準形（積和標準形，最小項展開とも呼ぶ）で示しなさい。

2 本学の対応

日本語版試験問題と英語版試験問題で異なる出題内容となっていたこと、また、他の設問への影響がないことから、受験者全員の公平性を保つため、当該設問を選択した者について、当該ミスによる影響を受けた可能性のある得点に対して調整を行い、可否の再判定を行いました。その結果、今回の対応措置により可否結果に影響を与えることはありませんでした。

（担当：教育推進部教育推進課）